交通労働災害防止協議会

連携して重大事故防止を

鹿児島労働局

鹿児島労働局は28日、鹿児島市の鹿児島合同庁舎で交通労働災害防止対策関係機関連絡協議会を開き、近年多発傾向にある業務に起因する交通事故の防止に向けて意見交換し、その対策を話し合った。

安全教育の必要性も指摘された協議会
＝鹿児島市の鹿児島合同庁舎で

協議会には、鹿児島運輸支局、県警察本部等の行政機関と、県労働基準協会、建災防県支部等の関係団体代表が出席。初めに、玉利栄輝鹿児島労働局安全衛生課長が「各機関・団体が有機的に連携し、情報交換をお願いします」と挨拶。

続いて、県ダンプカー協会（川畑俊彦会長）を構成団体に加える設置要綱改正案を承認した後、今年6、7月の重大災害を踏まえたトラック関係事業者に対する緊急対策についての説明があった。

意見交換の中では、「資材運搬途中での重大災害が発生しているにも係わらず、交通災害防止への認識が希薄」「建設労働者の送迎中における安全教育を徹底すべきである」といった指摘があった。

本県では昨年、191人が労働災害によって死傷、うち124人が交通労働災害となっており、交通労災防止のためのガイドラインの徹底、交通危険マップの利用促進が求められている。

県森林土木協会曽於支部パト

更なる安全対策を

県森林土木協会曽於支部（岩切重則支部長・㈱岩切組）は28日、管内7現場で事業現場安全パトロールを実施。会員の事業主・安全責任者17人と隅農林事務所職員が参加、3班に分かれ各現場を診断した。反省会では、どの現場とも良好であったと報告された。

総勢42人の参加者は、有明町構造改善センターと大隅町の曽於建設会館、財部町役場駐車場に分かれて集合し、7現場を診断した。どの現場も安全面、現場管理とも非常に良好で、特に間伐材を使ってのイメージアップは好感を持たれた。

反省会では、岩切支部長が「忙しい中の全員参加はありがたい。世の中には安全はなく更なる安全対策をお願いします」と挨拶した後、大隅農林労働基準監督官らの診断員から「現場事務所の環境も良く、総合的に好感が持てた。今後も絶えず現場の周りに注意して作業してください」と講評、繁忙期を前に更なる管理体制の充実を確認した。

管理体制の充実を確認した反省会
＝大隅町の曽於建設会館で

れいめい高校生現場研修会

砂防や川内駅西口で

県建設業協会川内支部

県建設業協会川内支部（田代藤夫支部長）は28日、れいめい高校工学科土木コースの2年生19人を招待し、通常砂防や川内駅西口駅前広場整備などの現場研修会を開いた。質疑・レポート提出の学習会も行い、建設業のイメージアップと理解を深めてもらうことを目的に、一人でも多くの卒業生が地元業界へ就職してくれることを願った。

当日、引率教師・生徒及び協会関係者の33人はバス2台に分乗、通常砂防（上手工区）上手川（丸澄建設㈱）、一般河川改修（戸田1工区）樋脇川（コーアツ工業㈱）、川内駅西口広場整備（その2・その3）（㈱植村組・外園建設工業㈱）の3カ所4現場を見学、それぞれの現場では、発注元及び現場担当者によって工法や特性などの説明が行われ、川内駅では特別に建設が進む駅舎・自由通路内も見学、折から試験運転中の新幹線車両が通過するのに遭遇し「速い」「思ったより静か」「カッコいい」と歓声を上げていた。

午後は、建設会館で学習会、質疑・レポート作成が行われ、冒頭、田代支部長が「建設業を取り巻く環境は厳しいが、本日の研修会を通じて建設業に理解を深め、地元業界に皆さんの中から一人でも多くの人が就労してほしい」と呼び掛け、引率教師が「忙しい中を貴重な体験をさせていただきありがとうございました。生徒達は今後の学習に目標ができたと思う。卒業後は地元業界に役立てる生徒を育てて参ります」と謝辞の後、質疑応答に入ったが、「業界で働くにはどんな資格が必要か」「橋の工法の種類は」「作業時間はどこも一緒か」などの質問があり、担当者が分かりやすく説明し、生徒代表がお礼を述べて研修会を終えた。

現場研修する高校生
＝川内市の川内駅西口現場で

ガーデンヒルズ松陽台案内所を開所

ゆとりの生活空間提供

県住宅供給公社

県住宅供給公社（午之濱道久理事長）は28日、日置郡松元町の「ガーデンヒルズ松陽台」を11月1日から第1期分譲を開始するのに合わせて敷地内に案内所を開所し、行政や地域住民、関係者約30人が出席して祝った。

式典の冒頭、牛之濱理事長が「いよいよ来月から分譲を開始するが、地元住民の方々に着手以来、温かいご理解、ご協力に感謝しています。また、新たな入居者の皆様にはゆとりある生活空間を満喫頂けるものと信じています。これからは皆さんが一緒になって素晴らしい地域社会を構築して頂きたい」と挨拶。続いて、四元泰盛松元町長が「我が松元町のイメージアップに貢献し、まちづくりに大きな役割をもたらすものと期待している。早期完売を目指して協力していきたい」と言葉を寄せた。

ガーデンヒルズ松陽台は鹿児島広域都市圏のベッドタウンとして人口2500人規模の近郊型住宅地として整備されているもので、計画面積は約39㌶。戸数は戸建住宅471区画、集合住宅222区画の計693区画。今回、分譲を開始するのは109区画。平成4年から用地取得を開始し、造成工事は青木建設・渡辺組・久保工務店・西郷組JVが担当。造成完了は16年3月20日を予定している。

第1期分譲地の全景（下）と分譲開始を祝った開所式（松元町の現地で）

鹿屋肝属電気設備協組

街灯31基を清掃・点検

奉仕作業

鹿屋肝属電気設備協同組合（山形広ノ進理事長・㈱坂元電気工事）は25日、社会奉仕活動として毎年恒例になった電気設備無料点検を実施した。

作業前に写真に納まる参加者
＝鹿屋市の現地で

明るくなった街灯に、市や地域住民から感謝された。

今回の作業場所は、住民らが散歩や通学路として利用する鹿屋市川西のフィットネスパース（愛称サンロード鹿屋）にある街灯31基を清掃・点検を実施した。電球は、かごしま電工、九州東芝電材、さくら電機の好意で支給された電球を使い全て交換した。

参加者24人を前に、山形理事長が「安全第一で」と挨拶、秋永賢一専務理事（有）中央電機工業社）が作業説明をした後、2班に分かれ高所作業車を使い手際良く作業をこなした。

また、同組合はこのほど、安全訓練を第一機械産業㈱（鹿屋市）で行い、小浜悟氏（コマツ鹿児島）を講師に建設機械を使いながら始業点検等を学び安全への認識を深めた。

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5－41 TEL 252-8084
トーカンマンション白雲602号 FAX 252-1144